

令和8年度 第1回奄美市子ども・子育て会議 議事録(概要)

開催日時	令和8年5月25日(月)10時00分～11時30分
開催場所	アマホームPLAZA 3階大多目的室
出席者 (15名)	吉村委員(委員長), 加世田委員(副委員長), 川畑委員, 當田委員, 福田委員, 川内委員 座安委員, 榮委員, 川畑委員, 西谷委員, 前田委員, 宮内委員, 石川委員, 河野委員, 濱田委員
事務局	福祉事務所長, こども未来課, 福祉政策課, 健康増進課, 重点政策推進監, 学校教育課 住用総合支所市民福祉課, 笠利総合支所いきいき健康課
〈議題〉	<p>1 開会</p> <p>2 協議 (1) 知根小学校における放課後児童クラブについて(こども未来課)</p> <p>3 報告 (1) こども誰でも通園制度の状況について(こども未来課) (2) 児童育成支援拠点事業について(福祉政策課) (3) 小浜保育所について(重点政策推進監) (4) 「名瀬地区幼児教育・保育持続化プラン」について(重点政策推進監)</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
審議内容(発言内容、審議経過、結論等)	
<p>進行 委員長</p> <p>協議(1) 知根小学校における放課後児童クラブについて(こども未来課)</p> <p>質疑(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知根小学校を訪問して、校長先生、教頭先生、民生委員等と協議を行った。地域行事の中でも紹介があり、地域活性化に繋がることを期待するとの意見があった。 ・ 支援員等の人数も十分確保できており、実施できることはよいことである。 <p>報告(1) こども誰でも通園制度の状況について(こども未来課)</p> <p>質疑(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周知が足りないと感じるため、周知方法について回数やタイミング等について踏み込んで検討をしていただきたい。 →事業内容について分かりやすく説明する資料を作成しており、市SNSでも周知していきたい。 <p>周知によりニーズが増えても受入れ体制が構築できていない。保育士不足という現実があり、働きやすい環境の構築を進めており、そこに初見の園児を預かるとなると保育士の精神的負担が大きいのも事実である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズと一緒に現場の声も一緒に取り上げていただきたい。 	

→預ける施設がどのような施設なのか分からないという保護者の不安、今回ご意見いただいた受入側の負担等の現状について、引き続き意見をいただきながら一緒に事業を進めていきたい。

まだあまり認識されていない印象である。事業所としても様子を見ているのではないか。

- ・ 他自治体では、固定利用(毎週○曜日○時間の週2回等)があり、保護者の時間確保にも繋がっていると聞いている。こういった活用ができれば利用に繋がるのではないか。
- ・ 給食やアレルギー対応はどのようにしているのか。
→保護者による対応(持参)となる。

報告(2) 児童育成支援拠点事業について(福祉政策課)

質疑(主な内容)

- ・ 学童クラブと本事業との違いは何か。
→本事業では、お風呂・食事の提供・学習支援等を行うことができ、開所時間についても違いがある。また、本事業を利用する場合は市が窓口となり申請・決定の事務を行う。
- ・ 事業者に聞き取りを行ったが、本事業の対象児童について、学校との情報共有等の連携を図りたいとの意見があった。

協議(3) 小浜保育所について(重点政策推進監)

協議(4) 「名瀬地区幼児教育・保育持続化プラン」について(重点政策推進監)

質疑(主な内容)

- ・ 各施設の建設については、人口減少や財源の確保について検討いただき、今の子供たちのため50年後を見据えたものとして取り組んでいただきたい。
→複合施設でも見直しを行っており、計画も柔軟性をもって対応をしていきたい。また、施設については市全体の施設マネジメントの面からもしっかり進めていきたい。
- ・ 小浜保育所の整備については、老朽化を踏まえると念願であったと認識している。また、複合施設については、見直しを行ったが子育ての拠点として子どもが増えていく方向に進んでほしい。

その他

- ・ 第2回の予定について